

変更届出事項等の訂正事項明細書

項目	レコード定義項番			1	2	3	4	5
	変更	廃止 <small>(非課税口座)</small>	廃止 <small>(未成年者口座)</small>					
届出事項等の種類	1	1	1	<input type="checkbox"/> 変更届出事項 <input type="checkbox"/> 廃止届出事項	<input type="checkbox"/> 変更届出事項 <input type="checkbox"/> 廃止届出事項	<input type="checkbox"/> 変更届出事項 <input type="checkbox"/> 廃止届出事項	<input type="checkbox"/> 変更届出事項 <input type="checkbox"/> 廃止届出事項	<input type="checkbox"/> 変更届出事項 <input type="checkbox"/> 廃止届出事項
整理番号 (N I S A)	18	24	24					
提出者の氏名	6	12	12					
提出者のフリガナ	7	13	13					
生年月日	8～11	14～17	14～17					
提出年月日	訂正前	2～5	3～6	3～6				
	訂正後							
非課税管理 勘定又は累 積投資勘定 廃止	訂正前	24	—	—				
	訂正後							
上場株式等 の受入れ	訂正前	25	27	27				
	訂正後							
廃止通知書 交付申請書	訂正前	—	7	—				
	訂正後							

(注) 1. 「レコード定義項番」とは、「届出事項(非課税口座開設届出書に記載された事項等)を提供する場合におけるレコードの内容及び記録要領等の制定について(法令解釈通達)」において定められている変更届出事項及び廃止届出事項の項番をいいます。

2. 「届出事項等の種類」欄には、該当する届出事項等の口にレ印を記載してください。

※税務署処理欄					
---------	--	--	--	--	--

届出事項（非課税口座開設届出書に記載された事項等）を提供する場合における
レコードの内容及び記録要領等の制定について（法令解釈通達）【抜粋】

○ レコードの内容及び記録要領
（別紙6）【変更届出事項（金融商品取引業者等変更届出書に記載された事項等）】

項番	項目名	入力文字基準		記録要領
1	届出事項等の種類	半角	3文字	「006」を記録してください。
2	提出年月日	元号	半角	提出者（金融商品取引業者等変更届出書を提出した者をいいます。以下《レコードの内容及び記録要領(6)》において同じです。）が金融商品取引業者等変更届出書を金融商品取引業者等の営業所の長に提出した年月日の元号、年、月及び日を記録してください。 この場合、元号については、平成は「4」、令和は「5」を記録し、また、「年」、「月」及び「日」は、それぞれ別項目で2桁を使用することに留意してください。 (例)「令和3年3月22日 → 5,03,03,22」
3		年	半角	
4		月	半角	
5		日	半角	
6	提出者の氏名	全角	120文字以内	提出者の氏名を記録してください。姓と名の間を1文字分のスペースにより区切ってください。外国人については、ファミリーネーム、ファーストネーム、ミドルネームの順に記録し、それぞれの間を1文字分のスペースにより区切ってください。
7	提出者のフリガナ	全角	120文字以内	提出者の氏名のフリガナを記録してください。姓と名の間を1文字分のスペースにより区切ってください。外国人については、ファミリーネーム、ファーストネーム、ミドルネームの順に記録し、それぞれの間を1文字分のスペースにより区切ってください。
8	提出者の生年月日	元号	半角	提出者の生年月日の元号、年、月及び日を記録してください。 この場合、元号については、明治は「1」、大正は「2」、昭和は「3」、平成は「4」、令和は「5」を記録し、また、「年」、「月」及び「日」は、それぞれ別項目で2桁を使用することに留意してください。 (例)「平成元年4月15日 → 4,01,04,15」
9		年	半角	
10		月	半角	
11		日	半角	
18	提出者の整理番号	半角	14文字	金融商品取引業者等変更届出書の提出の日以前の直近に提出者から提出を受けた非課税適用確認書等に記載された整理番号を記録してください。 提出者の口座がみなし開設された非課税口座である場合には、未成年者口座の開設の際に提出された未成年者非課税適用確認書又は未成年者口座廃止通知書に記載された整理番号を記録してください。
24	非課税管理勘定又は累積投資勘定を廃止した旨等	半角	1文字	金融商品取引業者等変更届出書の提出により、①非課税管理勘定又は累積投資勘定の廃止を行い、当該金融商品取引業者等変更届出書の提出の日の属する年の翌年以後の各年（同日の属する勘定設定期間内の各年に限ります。）において非課税管理勘定又は累積投資勘定を設けないこととした場合には「0」を、②非課税管理勘定又は累積投資勘定の廃止を行わず、当該金融商品取引業者等変更届出書の提出の日の属する年の翌年以後の各年（同日の属する勘定設定期間内の各年に限ります。）において非課税管理勘定又は累積投資勘定を設けないこととした場合には「1」を記録してください。
25	上場株式等の受入れをしていない旨	半角	1文字	項番24に「0」が記録されている場合において、提出者から金融商品取引業者等変更届出書の提出を受けた日以前に当該金融商品取引業者等変更届出書の提出により廃止された非課税管理勘定又は累積投資勘定に上場株式等の受入れをしていない場合には「0」を記録してください。 項番23に「1」が記録されている場合には、「前の項目、後の項目」としてください。

○ レコードの内容及び記録要領
（別紙7-1）【廃止届出事項（非課税口座廃止届出書等に記載された事項等）】

項番	項目名	入力文字基準		記録要領
1	届出事項等の種類	半角	3文字	「007」を記録してください。
3	提出年月日	元号	半角	提出者（非課税口座廃止届出書を提出した者、みなし提出により非課税口座廃止届出書を提出したものとみなされる者又は非課税口座廃止通知書交付申請書を提出した者をいいます。以下《レコードの内容及び記録要領(7-1)》において同じです。）が非課税口座廃止届出書を金融商品取引業者等の営業所の長に提出した年月日又はみなし提出があった年月日（以下《レコードの内容及び記録要領(7-1)》においてこれらの年月日を「提出の日」といいます。）の元号、年、月及び日を記録してください。 この場合、元号については、平成は「4」、令和は「5」を記録し、また、「年」、「月」及び「日」は、それぞれ別項目で2桁を使用することに留意してください。 (例)「令和3年3月22日 → 5,03,03,22」
4		年	半角	
5		月	半角	
6		日	半角	
7	非課税口座廃止通知書交付申請書の提出を受けた旨	半角	1文字	提出者から租税特別措置法施行令等の一部を改正する政令（平成26年政令第145号）附則第11条第6項に基づき非課税口座廃止通知書交付申請書の提出を受けた場合には「1」を、提出を受けていない場合には「0」を記録してください。
12	提出者の氏名	全角	120文字以内	提出者の氏名を記録してください。姓と名の間を1文字分のスペースにより区切ってください。外国人については、ファミリーネーム、ファーストネーム、ミドルネームの順に記録し、それぞれの間を1文字分のスペースにより区切ってください。
13	提出者のフリガナ	全角	120文字以内	提出者の氏名のフリガナを記録してください。姓と名の間を1文字分のスペースにより区切ってください。外国人については、ファミリーネーム、ファーストネーム、ミドルネームの順に記録し、それぞれの間を1文字分のスペースにより区切ってください。
14	提出者の生年月日	元号	半角	提出者の生年月日の元号、年、月及び日を記録してください。 この場合、元号については、明治は「1」、大正は「2」、昭和は「3」、平成は「4」、令和は「5」を記録し、また、「年」、「月」及び「日」は、それぞれ別項目で2桁を使用することに留意してください。 (例)「平成元年4月15日 → 4,01,04,15」
15		年	半角	
16		月	半角	
17		日	半角	
24	提出者の整理番号	半角	14文字	非課税口座廃止届出書の提出の日以前の直近に提出者から提出を受けた非課税適用確認書等に記載された整理番号を記録してください。
27	上場株式等の受入れの有無	半角	1文字	項番26に「1」が記録されている場合には、非課税口座を廃止した日の属する年の非課税管理勘定又は累積投資勘定に上場株式等の受入れをしている場合には「1」、受入れをしていない場合には「0」を記録してください。 項番26に「0」が記録されている場合には、「前の項目、後の項目」としてください。

○ レコードの内容及び記録要領
 (別紙7-2) 【廃止届出事項(未成年者口座廃止届出書等に記載された事項等)】

項番	項目名	入力文字基準		記録要領
1	届出事項等の種類	半角	3文字	「007」を記録してください。
2	未成年者口座を廃止した旨	半角	1文字	未成年者口座廃止届出書の提出により未成年者口座を廃止した場合には「1」を、租税特別措置法第37条の14の2第5項第2号トに規定する未成年者口座等廃止事由又は同項6号ホに規定する課税未成年者口座等廃止事由が生じたことにより未成年者口座が廃止された場合で同条第20項の規定によりこれらの事由が生じた時に同項に規定する未成年者口座廃止届出書を未成年者口座が開設されている金融商品取引業者等の営業所の長に提出したものとみなすこと(以下《レコードの内容及び記録要領(7-2)》において「口座等廃止事由によるみなし提出」といいます。)による提供である場合には「2」を、租税特別措置法施行令第25条の13の8第20項において準用する同令第25条の13の4第2項に規定する出国の時に租税特別措置法第37条の14の2第20項に規定する未成年者口座廃止届出書を未成年者口座が開設されている金融商品取引業者等の営業所の長に提出したものとみなすこと(以下《レコードの内容及び記録要領(7-2)》において「出国によるみなし提出」といいます。)により未成年者口座を廃止した場合には「0」を記録してください。
3	提出年月日	元号	半角	1文字
4		年	半角	2文字
5		月	半角	2文字
6		日	半角	2文字
12	提出者の氏名	全角	120文字以内	提出者の氏名を記録してください。姓と名の間を1文字分のスペースにより区切ってください。外国人については、ファミリーネーム、ファーストネーム、ミドルネームの順に記録し、それぞれの間を1文字分のスペースにより区切ってください。
13	提出者のフリガナ	全角	120文字以内	提出者の氏名のフリガナを記録してください。姓と名の間を1文字分のスペースにより区切ってください。外国人については、ファミリーネーム、ファーストネーム、ミドルネームの順に記録し、それぞれの間を1文字分のスペースにより区切ってください。
14	提出者の生年月日	元号	半角	1文字
15		年	半角	2文字
16		月	半角	2文字
17		日	半角	2文字
24	提出者の整理番号	半角	14文字	未成年者口座廃止届出書の提出の日以前の直近に提出者から提出を受けた未成年者非課税適用確認書又は未成年者口座廃止通知書に記載された整理番号を記録してください。
27	上場株式等の受入れの有無	半角	1文字	項番26に「1」が記録されている場合には、未成年者口座を廃止した日の属する年分の非課税管理勘定に上場株式等の受入れをしている場合には「1」、受入れをしていない場合には「0」を記録してください。項番26に「0」が記録されている場合には、「前の項目」,「後の項目」としてしてください。